

## はじめに

当システムではCMYKで構成される「色版」と、白色を印刷する「白版」が必要となります。

実際の印刷物で白く見せたい箇所、色の下に白を使いたい場合には必ず「白版」を作成してください。

また、白色印刷の有無や調子（網点）によって、アルミの光沢感を活かしたパッケージも作成可能です。

【色版】



【白版】

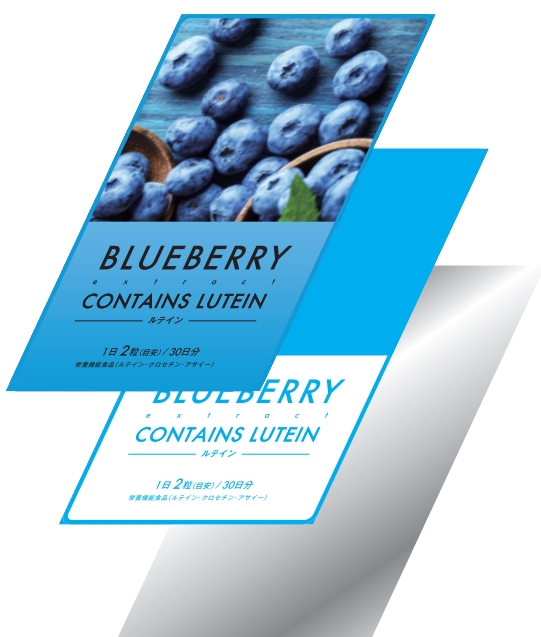


【アルミ地】



…白色で印刷する箇所

【インキの重なり方イメージ】



【袋仕上がりイメージ】



光沢無し  
(白印刷有り)

光沢有り  
(白印刷無し)

## 白版データの設定方法

白版に該当する箇所のオブジェクト(塗り／線)に特色(スウォッチ)「white」で100%を指定の上、「属性」パレットより「塗りにオーバープリント」・「線にオーバープリント」にチェックを入れてください。  
白版に指定したオブジェクトは全て「white」レイヤーに配置してください。

⑨ 色版で「CMYKすべて0%」で表現しただけでは白版とはなりません。

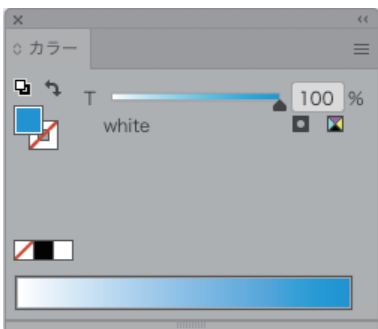
### 【whiteスウォッチ】



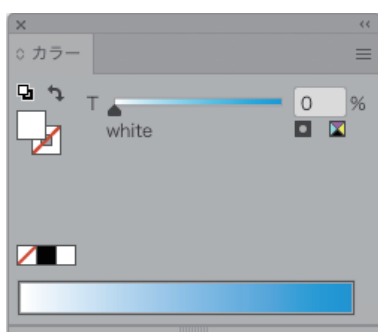
← whiteスウォッチはあらかじめ「入稿ガイド」データ内に登録されています。

← 白版に該当する箇所のオブジェクトが見やすいよう「white」スウォッチはC100%で表現しています。

※実際の印刷時、また、入稿データアップロード後の2D/3Dプレビューでは白色で再現されます。

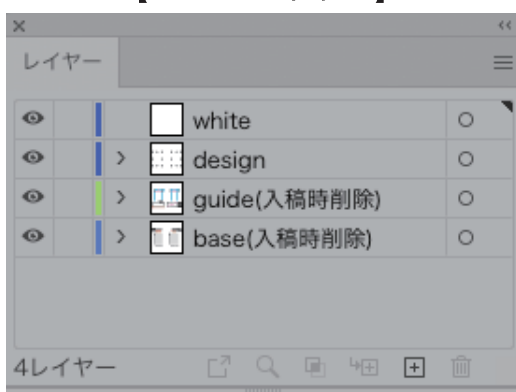


← 「white」100%+オーバープリントを設定した箇所のみ白が印刷されます。



← 「white」0%+オーバープリントに設定した箇所は「白が無い」状態となり、背景のアルミ地が見えます。

### 【whiteレイヤー】

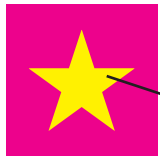


← 白版に該当するオブジェクトは、全て「white」レイヤーに配置してください。

## Tips 白版データ制作上のヒント

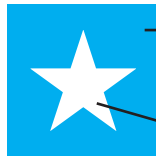
- 白版箇所は色版のオブジェクトに対して同寸(同サイズ)で設定してください。
- デザインの全面に白版指定をする場合、全面ベタで設定してください。
- 部分的に白版を設定する場合、あらかじめ色版のデザインをコピーし、whiteレイヤーに移動しておくとう便利です。
- 色版とアルミ地を生かして光沢感(メタリック感)を出したい場合

【色版】



星の部分のみ  
光沢感有り

【白版】

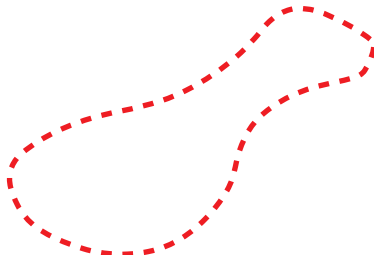


「white」スウォッチ100%+オーバープリント

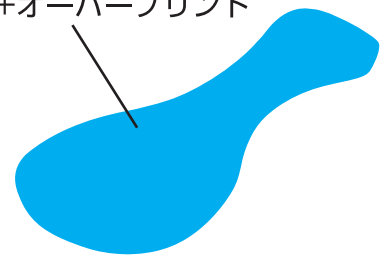
「white」スウォッチ0%+オーバープリント

- 画像の白版作成について  
画像の下に白印刷をする場合、以下のいずれかの方法で白版を設定してください。

### パス(ベクターデータ)で作成する方法

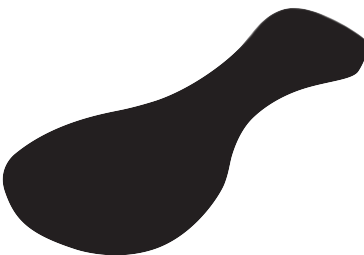


whiteスウォッチ100%  
+オーバープリント

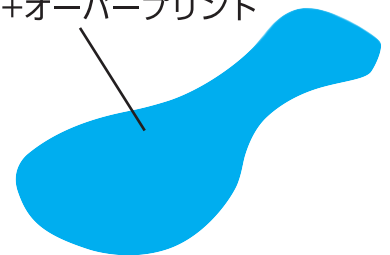


白版にしたい箇所のパスを手動で作成し、白版設定する。

### Photoshopで作成する方法



whiteスウォッチ100%  
+オーバープリント



- ①Photoshop上で白版にしたい箇所を選択し、ブラシツール等でK100%に塗り潰す。
- ②「チャンネル」で「C・M・Y」を削除し、「イメージ」-「モード」でグレースケールに変換する。
- ③TIFF形式で別名保存し、whiteレイヤーに再配置する。
- ④画像を選択し、他のオブジェクトと同様に白版を設定する。

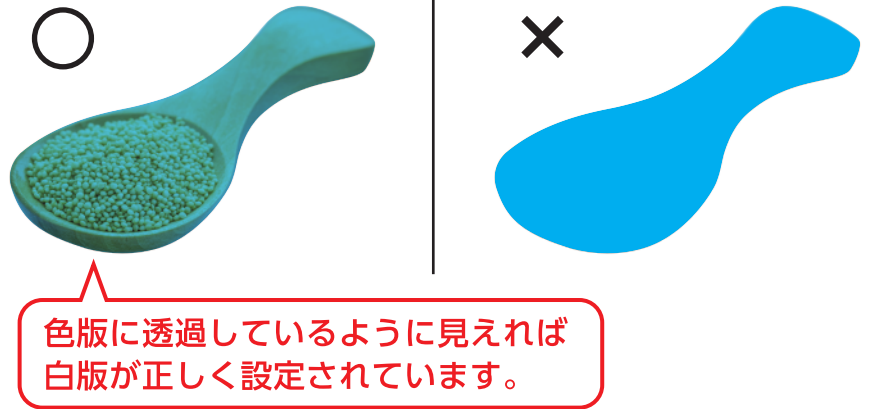
●白版が確実に反映されているかどうか、「ウィンドウ」→「分版プレビュー」パレットでご確認ください。

【分版プレビュー】

チェックで表示切り替え

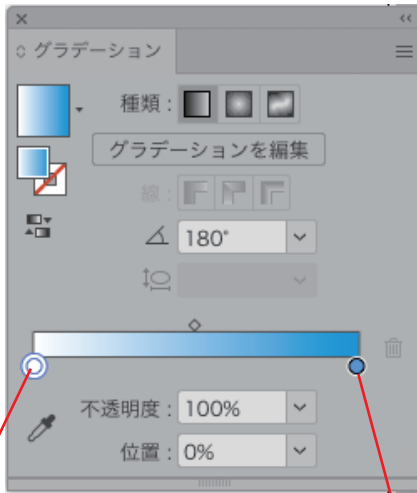


【オーバープリントプレビューで確認した時のイメージ】



●白のグラデーション(白100%→白0%)を使用する場合

- ・グラデーションパレットで該当箇所にそれぞれ「white」スウォッチ設定します。
- ・オブジェクトにはオーバープリントを設定してください。



データ上の見え方



実際の白の見え方

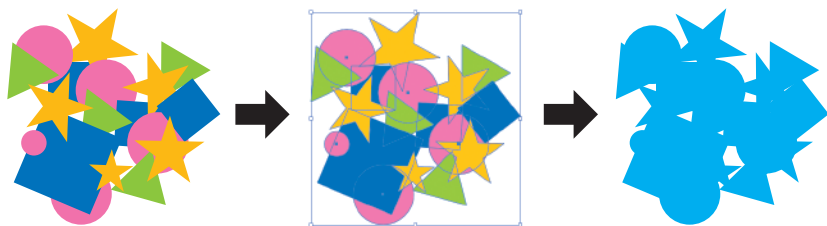


white0%

white100%

●個別オブジェクトに白版設定が困難なデザインの場合

パスの数が多く複雑な形状となっているなど、個別に白版設定が難しい場合は、まとめて該当箇所を選択し、「オブジェクト」→「ラスタライズ」で画像に変換して白版設定することも可能です。



【ラスタライズ】



カラーモード:CMYK、解像度:300ppi、背景は透明に設定してください。

ラスタライズされた画像は、「リンク」パレットのオプションより「埋め込みを解除」でリンク画像として抽出できます。画像抽出後は、本ガイド内の「P.3 画像の白版作成について」の項目をご参照の上、白版を設定ください。